
精神的自殺（自我崩壊）

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

精神的自殺（自我崩壊）

【Nコード】

N86490

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

私が精神的な崩壊に至るまで

(前書き)

苦しみとは、どうすれば解消されるのであろう。私は…。
私は…。

自分を殺す、自分に殺されると書いて『自殺』という。では、自分の精神を心を気持ちに殺す、自分の精神を心を気持ちに殺されると書いて『……』何というのだろう。

私は私が嫌いだ。私の弱い精神が嫌いだ。私の弱い心が嫌いだ。私の弱い気持ちに嫌いだ。私はそんな目に見えない自分の内面を殺してしまいたかった。

私は1974年に生まれた。今年で36歳になる。今まで平凡に暮らしてきた。幼少時代は体が弱くよく親に迷惑をかけたものだ。少年時代は気が弱いもあり、学校でイジメを受けた。その頃からだ、私が私を殺してしまいたくなったのは。中学校に入り、イジメはなくなったが、部活がきつく、顧問が気に入らなかった。友達も数名いたが、今となっては、あれも友達と呼べた関係では無かったのかもしれない。この時分も私は私を殺したくて仕方なかった。他人に暴力を奮う訳でもなく、親に八つ当たりをする訳でもない。ただ、自分を殺したくて、殺したくて仕方なかった。私のお気に入り場所は近くのマンシヨンの屋上だった。マンシヨンの屋上から下を見下ろすと、人が米粒のように見えた。少し離れて見ると人など小さな、ちっぽけな存在だった。私もそのちっぽけな存在の一人だった。マンシヨンの屋上の端に足を出して座る。下から見たらそれは危険な行為だろう。しかし人は前か下しか見えない。上を見上げる者など殆どいない。私は何度そこから、ピョンつと外に飛び出してやろうと思った事か。しかし出来なかった。恐怖という見えない心の壁に邪魔されて出来なかった。

そんな3年を過ごし私は高校生になった。学校でイジメられる事

も無くなった。教師達から不良というレッテルを貼られているヤツらと一緒にいる時間が増えていった。学校生活に不満を感じる事は殆ど無かった。中学時代にやっていた部活により高校でも同じ部活からの勧誘がくる。何度断つても、しつこくしつこく。昔スイミングスクールに通っており、中学時代に何かの大会で賞をとった事により、水泳部からもよく勧誘がきた。音楽の授業が好きだったのと、音楽の教師が吹奏楽部の顧問だった事から、吹奏楽部からも勧誘をよく受けた。しかし私は部活には興味が無かった。学校が終わるとすぐに下校し学校から少し離れたゲームセンターに行く。当時ゲームセンターのゲームといえば、1回100円と相場が決まっていたが、そこは1回50円だった。そのゲームセンターでたむろし、タバコを吸い、そして家に帰った。そんな毎日だった。高校3年になって進路について話す機会が多くなった。私は数学と生物学が得意分野だったので、大学に行こうと思っていたが、英語の成績が良くなく断念した。その頃、父親は毎日のように勉強しろと言っていた。大学に行きたいならば勉強をしろと。今思えば、父親は自分（父親）の為（世間体）に勉強しろと言っていたように感じる。

私は大学への進学を断念し、専門学校へ行った。授業に真面目に取り組む気は無かったが、友人がいたので、毎日学校へは行った。専門学校の2年間はあつという間だった。

そして私は就職し、恋もした。その頃からまた私の病気が芽を出したのだった。嫌な事、自分の理に叶わない事がある度に自殺を考えた。しかし、やはり出来なかった。自制心がそうさせなかったのだと思う。そして2度目の職場で私は我を失った。多量薬剤服用による自我崩壊を行った。失敗に終わったのだが、その時に死よりツライ事があると学んだ筈だった。

そして今、私は精神、心、気持ちを殺そうとしている。肉体的な死ではない。精神的な死を望んでいる。精神的な死、これは何というのだろうか。私は精神の自殺志願、自殺未遂者だ。

精神的な苦しみから逃れる為に、ストレス解消、ストレス発散という形で何かを行う者もいる。しかしそれが出来ない、それを思い付かない者はどうすればいいのだろう。私は、自我が崩壊してしま
いそうである。

（後書き）

精神を消してしまいたい。そういう衝動に駆られる事はないだろうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8649o/>

精神的自殺（自我崩壊）

2010年11月13日14時16分発行